

長い夏休みが終わり、2学期がスタートしました！

学校に子どもたちの元気な声が響き渡りました。やっぱり学校は、子どもたちが主役ですね。久しぶりの学校に少し緊張している子、夏休みの出来事を楽しそうに話している子、夏休みに取り組んだ工作や自由研究を興味津々に見合っている子などなど。

教職員一同、子どもたちが戻って来るのを楽しみに待っていました！ 先生方も、子どもたちをどのように教室へ迎え入れようとされたのか…。黒板もひと工夫。



保護者の皆さま「Calbeeのじゃがりこ」「サトウのごはん」「KIRINの氷結」はご存じでしょうか？ その中身ではなく、容器は同じ会社が作っているのです。“金属・プラスチック・ガラス・紙”の「四大包装資材」すべてで業界トップクラスのシェアを誇る東洋製罐。その創業者である高碇達之助氏は、「小成（しょうせい）に安ずるは退歩（たいほ）である」という言葉を残しています。小さな成功や満足に甘んじて、そこで歩みを止めてしまうと、結果的に後退（退歩）になってしまうという意味です。違う見方をすると、「去年と同じことをしているだけでは進歩はない」という意味にもなります。世の中は常に変わるため、初心と勇気を持ち続けて挑み続けるべきだという考え方を示しています。

始業式では、上記のようなことを話しました。子どもたちには、1学期や昨年と同じことをするのではなく、常に考え、意識し、何事も新たな方法や行動で臨んでほしいと願っています。教職員も同じこと。2学期は運動会や遠足、林間学舎や修学旅行などの行事があります。もちろんなくしたり、変えたりすることができない行事もありますが、昨年と同じことをするだけではなく、「今の学年の子どもたちなら、どんなことができるだろう？ こんなこともできるかな？」を常に意識しながら、子どもたちの成長に向け、行事の計画にあたっています。

さらに、1学期にお別れしたALTの先生に代わって、新しいALTの先生をお迎えしました。また、事務員も新たに来られましたので、挨拶をいただきました。

2学期も安全・安心を第一に、子どもたちにとって、保護者の皆さまにとって、よりよい亀井小学校となるよう教職員一同、努めてまいります。よろしくお願いいたします。

